

宮田の環境を守る会通信

Vol. 16

私たちは、宮田村大久保区に計画されている放射性物質を含む廃棄物最終処分場建設に断固反対します。

(ご意見など) miyadakankyo@gmail.com

発行: 宮田の環境を守る会 会長 田中 一男(村議会)

アスベスト検体再採取 立ち会い (6/10)

建設予定地内の建物にアスベストを含む建材が使用されている問題について、当会が指摘していた検体採取個所の確認、情報の共有化に関して、事業者、当会とでの再採取が実現しました。

当会からは、地元大久保区、区長会、村会議員、当会役員など28名、事業者側からは、役員はじめ数名、検体調査会社の方が参加されました。

両者代表のあいさつ、採取個所等の説明後、元事務所、休憩場等の軒先、内装、天井等の、アスベスト含有の指摘をしていたところから検体を採取しました。又、外部の元焼却灰置き場、コンクリート資材置き場等からもサンプリングを行いました。

昨年の冬以来の現地となりましたが、想像以上に広く雑然としており、この場所に、10m採掘、5mもの壁を作って最終処分場を造ることは、付近に広がる優良農地、南には障がい者施設があり、地元にとっては相当のリスクのある事と改めて感じました。



予定地の現状について・6月22日から



6月中旬の約一週間で予定地のサイロ横の屋内等の残置物の撤去、周辺の清掃の連絡があったので、現状を確認しました。今後、現地の状況については、通信を通じて報告いたします。



処分場計画地の地下水変化は・7月1日大雨でした。(太田原橋下)



7月1日11:00頃
前日より宮田高原付近での
降雨130mm



7月1日15:00頃
約1時間位前から雨が止み
始めた。

中央アルプスの急峻な地形、河川が短いので大雨の時は急に増水、止めば一気に少なくなるのかな……

6月30日 周辺環境の調査をする為に、専門家から河川水、井戸水の水位、pH、電気伝導率、水温等の図り方についての指導を受け、継続的な観測調査の体制が整いました。

今後の観測で、河川増水時の処分場予定地の地下水の変化もわかるのではと期待します。



河川水、井戸水の観測調査
レクチャーを受けました。

最新情報は「宮田の環境を守る会」のホームページをご検索、ご覧ください！

